

創業171年目を迎えて「時を紡ぐ」をテーマとした新作を発表 樺細工の歴史を紡ぎ、次世代へ届ける

角館 伝四郎



質感の美しい調和がもたらす、心安らぐひととき

秋田県仙北市角館町で伝統工芸樺細工を製造・販売している「株式会社藤木伝四郎商店」は、昨年創業170周年を迎えました。

伝統工芸である樺細工が時代を超えて受け継がれてきた背景には、作り手の弛まぬ努力だけではなく、なによりも樺細工と共に時を重ね、使い続けてきた人々の存在が欠かせません。樺細工はお客様に愛され、使い続けられることで、その艶・奥行・美しさを増していきます。

171年目を迎えた今年、多くの方に永く愛され続けてきた樺細工の歴史を紡ぎ、次世代へと届けるために、「時を紡ぐ」をテーマとした新作「素箱 十二角時計」「素箱 十二角盆」「金筒茶筒」を10月に発表いたしました。テーマには、「お客様と共に時を重ねる」という意味が込められています。

【商品詳細 / 仕様】 ※価格はすべて税込価格

素箱 十二角時計 (写真上段)

文字がなく、12個の頂点が時を表します。シンプルな構成だからこそ、針の「真鍮色」と、「かえで」「さくら」「桜皮」の天然素材の持つ質感との美しい調和が、上質で穏やかな時を刻みます。

サイズ : 27.95 × 27.95 × 2.4cm

重さ : 約430g

価格 : 無地皮(桜皮) ¥17,600、さくら ¥16,500、かえで ¥16,500

素箱 十二角盆 (写真中段)

時を紡ぐ時計と同じ端正な十二角のお盆です。入子に重ねても美しい佇まいで、そのリズムカルな表情は心安らぐ憩いの時間を優しく彩ります。

サイズ : (大) 30 × 30 × 2.4cm、(中) 27 × 27 × 2.1cm、(小) 24 × 24 × 1.8cm

価格 : (大) 無地皮 ¥13,200 / さくら ¥12,100 / かえで ¥12,100

(中) 無地皮 ¥12,100 / さくら ¥11,000 / かえで ¥11,000

(小) 無地皮 ¥11,000 / さくら ¥9,900 / かえで ¥9,900

金筒茶筒「能作」と「角館伝四郎」とのコラボレーション(写真下段)

富山県高岡市の老舗鋳物メーカー「能作」が、時と共に表情を変えていく素材である「真鍮」を用いて、茶筒の「帯」と「つまみ」を仕立てました。「真鍮」の落ち着いた輝きと桜皮の質感の組み合わせは、使い込むことにより、しっとりとした表情へと育っていきます。

サイズ : Φ8.2 × 12.2cm

価格 : ¥22,000



【株式会社藤木伝四郎商店】 武家屋敷の街並み、桜の名所として知られる秋田県角館。樺細工は、その雪深い地域の武士の手内職として作られてきました。藤木伝四郎商店は江戸時代末期1851年の創業。厳選された素材と高い技術力で、確かな製品を作り続けています。モダンでシンプルなデザインは現代の暮らしにすっと溶け込み、静かに存在感を放ちます。 ■ <http://denshiro.jp/>

洗練されたデザインと愛らしい動物たちの「十三干支しおり」

大人の上質な革小物として開発された「本革の文具シリーズ」新登場

VINTAGE
REVIVAL
PRODUCTIONS

新年の神様へのご挨拶。ねこも間に合った「十三干支」

革製品の企画デザイン・製造・販売を行う「VINTAGE REVIVAL PRODUCTIONS」。設立当初から文具を手掛けてきた経験を活かして、より洗練された「本革の文具シリーズ」が新たに誕生。シリーズ最初の商品として「十三干支しおり」の販売が開始されました。

神様への新年のご挨拶。

「もしも、ねずみがねこに嘘をついていなかったら…」という発想から、「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」の干支に、なんとか間に合った「ねこ」が加わった十三干支になりました。

素材には、手触りの良いイタリア産の牛革・シュリンクレザーを使用しています。手仕事でわずか「0.6mm」の薄さに革を漉き、ハリを出す工夫を凝らして、表裏を貼り合わせました。真鍮製・削り出しの刻印で、一つひとつ丁寧に箔押しを施しています。

本だけでなく手帳等にもおすすめです。ページの上に出ている部分が少ないので、バッグの中でもダメージを受けにくく、長く愛用していただけます。

十三干支しおり

価格 : ¥1,540(税込)
素材 : イタリアンシュリンク(牛革)
カラー : 赤 / 紺
サイズ : W54×H54×D1.2mm

【VINTAGE REVIVAL PRODUCTIONS】2008年、デザイン・プロデュースを担当する兄が、製造を担当する弟と共に設立。社名は、設立当初ヴァンテージジーンズやパッチ素材を小物として“リバイバル”していたことに由来しています。元船舶設計士である兄がCADで設計し、幾度となくプロトタイプを製作し、辿り着いた製品群。使いやすさを優先したプロダクトは、新たな機能と独特のフォルムを成形しています。

■ <https://www.vrp-jp.com/about/>

【第3回】「青森の手作りを楽しむ、こぎん刺しマーケット」開催！

【主催・会場】 monova / 【会期】 2023年1月14日（土）～1月27日（金）



貴重な古作こぎんもご紹介

前回、前々回と、こぎん刺しファンの方を中心に大変ご好評をいただき、次回開催を求めるお声も届いていました「こぎん刺しマーケット」。1月に3回目を開催いたします。

会場では、本場青森から届くこぎん刺しの糸や生地、アクセサリなどの作品をご覧いただけます。一部こぎん糸のセール販売もございます。青森を代表する伝統工芸品「津軽塗」のアイテムも充実しています。豊かな色味や風合い、丁寧に作られた作品の魅力を、ぜひ実際にお手にとってご覧ください。

開催日時：2023/1/14(土)～1/27(金) / 10:30～18:30(水曜定休)
開催場所：monova内 特設会場
無料 / どなたでもお楽しみいただけます。
所在地：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 5階
お問合せ：(Email) info@monova-web.jp / (Tel) 03-6279-0688

「青森の手作りを楽しむ。津軽塗コースターのワークショップ」開催！

【主催・会場】 monova / 【開催日】 2023年1月14日（土）～1月15日（日）



【津軽塗イメージ（タンブラー）】

江戸時代中期から300年以上受け継がれる技

漆を重ねて研ぐという技法から生まれる津軽塗。全部で48工程から生み出されます。今回は、津軽塗の模様を水研ぎして出していく「荒研ぎ」という工程を体験していただけます。少しずつ模様が出てくる作業は、大人から子供まで幅広い年代の方たちに楽しんでいただけます。

研ぎ出した作品は一度お預かりして、青森の津軽塗職人の手により、最後の「艶つけ」という作業に移行いたしますので、完成までお時間をいただきます。

開催日時：2023/1/14(土) 11:00～17:00 / 2023/1/15(日) 11:00～15:00 ※お好きな時間にご来場ください。
開催場所：monova内 特設会場
定員：20名様(2日間合計)
参加費：コースター1枚あたり 3,000円(職人による仕上・配送料込)
所要時間：コースター1枚あたり 約30分

【事前申込方法】

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレス・参加希望日をご記入の上、メールにてお申込みください。monova受付でも申込可能です。
申込先メール：info@monova-web.jp ※メール件名に「ワークショップ申込み」と入れていただければ幸いです。

有限会社桂雛・monova 主催
モダンと伝統が融合した雛人形「桂雛」展示会を開催！
 2022年11月17日（木）～2023年2月14日（火）

本展示会のためにmonovaがフルオーダーしたヨーロッパのファブリックを用いた雛人形の他、桂雛の代表でもある雛人形作家・小佐畑孝雄氏による雛人形をご覧くださいませ

 TAKAO KOSAHATA



現代のインテリアに馴染むモダンな雛人形

1926年(昭和元年)に創業した桂雛(かつらびな)は、三代目の雛人形作家、小佐畑孝雄(こさはた たかお)氏が雛人形の製作を手掛けています。桂雛では200以上のパーツを組み合わせながら一貫して手作りで行っており、その製造法や技法が高く評価され、茨城県郷土工芸品に指定されました。伝統を守りながら、モダンなインテリアとも調和するアートとしての雛人形を確立し、現在に至っています。

この度、初の試みとして、小佐畑孝雄氏とmonovaとのコラボレーションによるオーダー雛人形を製作。展示会にて発表いたします。衣装のメインにはヨーロッパのファブリックブランドによる上質な生地をあしらい、モダンでシックな佇まいの雛人形になりました。

そして展示会では、小佐畑孝雄氏による雛人形を数点ご覧いただけます。初節句等のお祝いにはもちろん、大人も楽しめるインテリアアートとしての雛人形を是非、御覧ください。

期間中は、事前予約制にてセミオーダーのご相談も承ります。

【展示内容】

桂雛 雛人形各種

願いが込められた吉祥文様の西陣織・結城紬等の作品をご覧くださいませ。展示品にない作品もお取り寄せ・ご注文が可能です。※納期:約2週間

Kasane Frame ¥27,500(税込)～

雛人形と同じ素材・手法で作られているため、小佐畑氏が手掛ける桂雛の世界観を絵画のように楽しめます。20種類を超える貴重な生地と、西陣織で表現した美しいグラデーション「襲ねの色目」を自由に組み合わせさせてご注文いただけます。※納期:約2週間

サイズ: (small) W233×H 283×D18mm / (medium) W233×H433×D18mm

【有限会社桂雛 概要】

茨城県の伝統工芸品「桂雛」。現在は三代目の小佐畑孝雄氏が、初代から続く伝統工法を守りながら「結城紬」や「西ノ内和紙」といった地元産品を積極的に活用し、手作りで製作をしています。

■ <http://www.katsurabina.jp/>

モダンと伝統が織りなす桂雛の雛人形展

<開催概要>

会 期：2022年11月17日(木)～2023年2月14日(火)

10:30 - 18:30 (最終日は15:00終了) / 水曜定休

会 場：monova (東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階)

主 催：有限会社桂雛・monova